



Mazuha
Oishii Gohan wo
Tabeyou
UTA MITSUHO
POE BACKS

う
た
み
つ
ほ

ま
ず
は
美
味
し
い
ご
飯
を
食
べ
よ
う

トラウマ持ちの面倒くさい大人と
キラキラの若者が織りなす食卓ラブ。

堅物リーマン、
餌付けにハマる...



料理好き
×
ツンテレ眼鏡

生活能力の低い
年下わんこ



まずは

美味しい

ご飯を

食べよう

Mazuha Oishii

Gohan wo Tabeyou

UTA MITSUHO

うたみつほ





CONTENTS

Mazuha
Oishii Gohan wo
Tabeyou

あとがき	はじめての日	5話	4話	3話	2話	1話
.....
254	242	177	129	085	037	003



Mazuha
Oishii Gohan wo
Tabeyou

1話



どんなに仲良く
見せよう

どんなに気を許した
相手がいようと

何食へたい？

人間とは独立した
一人の個なわけで



「僕たち2人じゃないと
生きていけないんです」
みたいな顔をして

んーかー

ハンバーグか
からあげ！

ふんふん...

場をわきまえずに
ベタベタくっつく
カップルが俺には
理解出来ないし！



さつさと
離れよ

それにしても
でかい男だな
嫌でも目に入る…



大っつっ嫌いだ



あーそっか…
泊まるだけなら
別にいんだけど…

あーそっか…
泊まるだけなら
別にいんだけど…

あーそっか…
泊まるだけなら
別にいんだけど…

んー
ミカハルくん家
泊まつちゃ
おうかなー
その方が会社
近いんだあ



げっ
また
こいつらか

そういえば

ミカちゃん
時間大丈夫？
あんま遅く
ならない方が
いいよね？



とりあえず
買うもん買ったし
あとは…

だって俺
ゲイだもん

多分ミカちゃんが
期待してること
出来ないよ？



サイッテー!

ゲイなのに
ミカのこと誘ったの!?

——え
意味わかんない

ゲイならゲイって
もっと早く言っとよ!

んーとね

俺ゲイだから
ミカちゃん
エッチ出来な…

そういうこと
聞いてんじゃ
なくて!!

ごめん…
誘ったっつーか…



なんだ
これ!?



帰る!



ねー
おにーさん

ズズズ...

メシ作ってくれるって
言うからOKしただけ
なのになあ

ほっぺどーすか
腫れてます？



...と言いつつ
素早く逃げる!!

なら
良かったー



少し
腫れてるけど
それくらいなら
放っておいても
治るんじゃないかな？



え!?

なんで俺に
話しかけて
来るんだよ!?

すっげー
じんじん
するんすよねー





変なヤツ…



うん
みそ汁も
バッチリ



そろそろかな

カハカハ



完璧だ!!

我ながら
痺れるほどの
手際の良さだな!



さーて
盛り付け盛り付け



今度は少し味を
変えてみても
美味いかも！

ん！
サケ美味いなー
味もちょうどいい



いただきます



それにしても
あのスーパーの男
ほんと変なヤツ
だったな

はあ

つか
あんなところで
自分がゲイだとか
言うかよフツー
バカなのか



はやままさるたか
葉山 正貴 28歳

新卒で入った会社で6年
それなりの役職と
変わらない日々

仕事終わりに
夕飯の献立を
考えるのは楽しいし
自分なりに
満足した生活を
送っている

せんまのムニエル
つまろー
あそふか
千ぐも選べは
せんまと合うのか



...んんん

しまった...!!

完全に
寝落ちしたー!!

ますい...!!
いつもの電車...は

もう出てる...!

7:16

とにかく
シャワー浴びないと

細心の注意を
払っていたのに...!!

こつこつ事態に
ならないように





服の擦れる音

人の体温

息遣い…

うっ

ぞわぞわ



〇〇
×× 駅

降りよう…

…あ



やっぱり
無理…!!

吐きそう…



昨日の...

降りよ!

間に合った!

すみません
通して下さい!



ちよつと
待ってて！

？

ドサッ



ぽん

もう平気
だから…
座って休めば
治る



おにーさん
大丈夫？

ん…

カッパッパッ



なんだ
あいつ

なんで
いるんだ…



これ！



あー

素直にタクシー
乗っときゃ良かった

は

あんなところで
自分自身に
見栄張って
どーすんだよ…





良かった



……
ありがとうございます
すっきりした



気付いたら
体動いちゃって…



俺電車乗る時
おにーさん
見つけて

声かけよーと
思ったんですけど
離れちゃって



どーにか近く
行けないかなって
見たら
すげー具合悪そうで

迷惑じゃ
なかったなら
ほんと良かった！



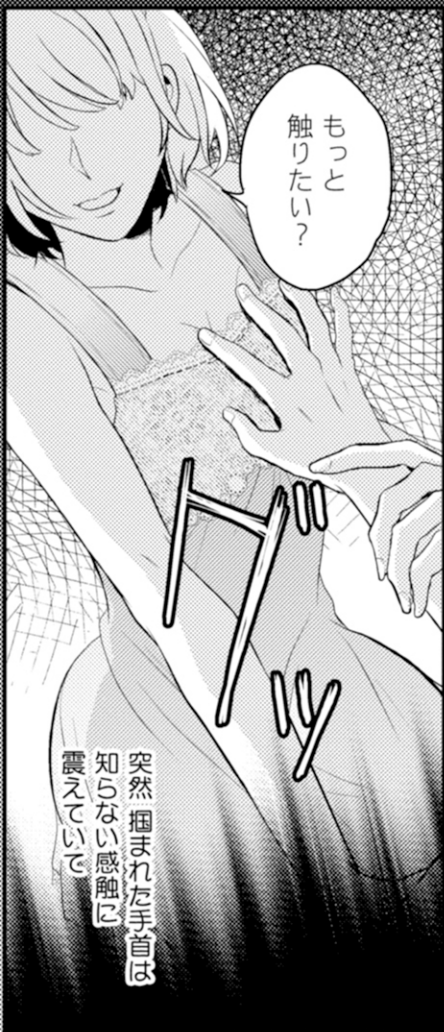






……
嫌がる暇なんて
なかった

きっと
あいつに助けて
もらわなかったら
倒れてた



俺は怖くて逃げ出した

今になって思えば
ちよつとした
いたずらだったのかも
しれない

けど俺は
その知らない感触が
怖くて怖くて
たまらなかった

掴まれた手
汗ばんだ柔らかい肌

未だに思い出す
あの感触は俺にとって
恐怖でしかない



触れる度に
思い出す記憶と
触られる度に
ビクつく体

いつしか俺は
人と距離を置くように
なっていた





それでも
慣れるんだよな
こういう生き方に



…いた



あ



数日後





よろしくね
おにーさん!

いからしはる
五十嵐 春です



そーそー
俺も気になって
たんすよね〜!

そうか…



…葉山



おにーさんは?



じゃー
葉山さん…

ん？



葉山正貴…



お願い…？

あの、
タオルは
もういいんで
俺のお願い
一つ聞いてもらっても
いいっすか？

ぐいっ

は？

ほ
あ
あ
っ

俺にメシ
作ってください!!





い
い
ぞ

はあ



や
っ
た!
や
っ
た!
や
っ
た!

全
然
い
っ
す!

そ
ん
な
に
喜
ぶ
こ
と
か...



た
だ
し
一
回
だ
け
だ
か
ら
な!



お前
好きなもん何?
あと
嫌いなもん



はい!

あとで連絡先
教えてくれ
詳しいことは
その時決めよう



んで
基本的に
野菜がダメっす

…え
野菜って
野菜全般
食えねーの?



肉!
肉が好きっす!!

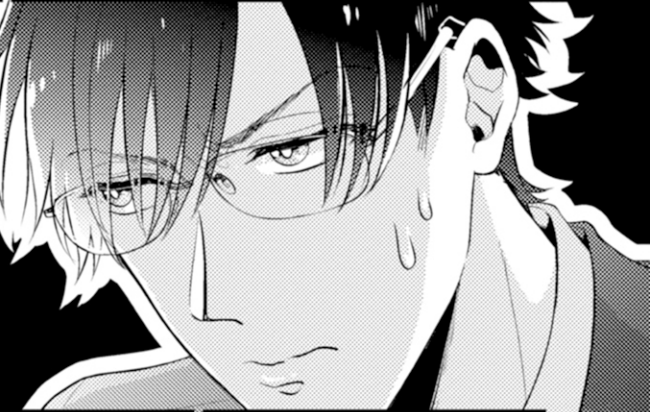
からあげとか
ハンバーグとか
焼肉とか!!



それで
どうやって
んなに大きく
なったんだよ…



だってー
野菜って葉っぱとか
根っこじゃないすか
食べても美味いと
思わないんすよね





…なわけ
ないか
俺なんて
フツートの
リーマンだし



毎日弁当だと
流石に飽きるん
すよね〜

葉山さんが
OKしてくれて
ほんと良かった〜！

一回だけ！
一回だけだからな！

わかってます！

そんなこんなで
変な男に懐かれた



すっげー
美味しい!!

俺にメシ

作って下ろす!!

料理が趣味のしがな会社員・葉山正貴。

ひよんなことから大学生の五十嵐春に

手料理を振る舞うことになる。

人付き合いが苦手で、一人で過ごすことに

なんの不満もなかった葉山だが、

子犬のように懐いてくる春との時間が

いつの間にか大切になっていった。

自分の世界に閉じこもっていた男が

恋と料理をきっかけに

少しずつ世界を広げていく

センチティブストーリー。



こいつの
笑った顔見ると
へソのあたりが
ムズムズする...



...うん

...触って

自分のために

作っていた

料理が



付いているや...米

いつの間にか

春のために

なったた